

日時	2025年 4月 12日 (土) 10:00 ~ 12:00 天候: 晴
場所	湿地、2階交流スペース
講座・活動名	湿地モニタリング調査 & 観察園全樹木調査 毎月第2土曜定例
参加者	21名 (うち子ども 2名) 構成: 講師 2名、(環境局 1名) NTT西日本関西支店 9名、エコボラ 8名、事務局 1名
講師名	鈴木真裕 (大公大)、北川ちえこ* (エコボラの場合氏名に*印をつける)
内容	生き物調査、標本作製、データ入力、(報告書作成) 毎木調査準備
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) PC、大型モニタ、マイクロスコップ、調査用紙、たも網、金魚網、バケツ、バット、タッパ、スポイト、エチルアルコール、バイアル瓶、ピンセット、古新聞紙、ラベル用中性紙、ケント紙、クリアポケット、タックラベル、水性のり
振り返り エコボラ通信に掲載することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の種数が少ない・アオスゲ、ミゾソバ、ヘビイチゴ、イヌタデが目立つ ・西外側のアケビのつるを除去した ・水の濁りは少なく、底が見えたが、コウホネのため池では緑藻類が出ていて、雑種ガモのペアがきていた状況と比較すると、湿地には最近、緑藻が出ないことが気になった ・もんどりは2つ沈めた もんどり (刻み昆布) スジエビ 2、カワリヌマエビ 3、アメリカザリガニ 1 もんどり (鯉節) カワリヌマエビ 3 ・アメリカザリガニは、すくいとりで5匹、駆除39匹 もんどり (刻み昆布) では1匹だった ・樹木調査は、東クヌギ樹林の30本を対象に計測した ・観察園内のカンサイタンポポと外来タンポポの花粉を、マイクロスコップで観察した
事務局への 伝達事項 次回案内等	★マイクロスコップとピンセットを用意してもらったので、ポーチにまとめておくとわかりやすい これらの置き場所は、実験器具キャビネットの上の、ガラス戸棚の中に保管することとします

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
鈴木博司	アケビの除去	(北川ちえこ)	植物調査、アキノレの抜根
西田敏子	植物調査	(鈴木真裕)	動物調査
林耕太	植物調査	(環境局 馬方)	樹木調査、連絡調整
渡辺喜代子	植物調査	NTT西日本 9名	植物調査、動物調査、樹木調査
芝崎美世子	動物調査	(事務局 前田)	進捗管理
中谷憲一	昆虫調査		
福川昇	動物調査		
柘元慶子	植物調査、撮影、報告		

いずれかに○→ () 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

日時	2025年4月12日(土)	記録者	柗元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

湿地の状況 250412



北方向

給水中

水の濁りは少なく底が見える

南方向



湿地の調査 250412



もんどりの準備 250412

今回の餌は 鯉節と刻み昆布

もんどりの設置 250412



湿地の調査 250412



すくい採り 250412

左：刻み昆布 右：鯉節



ソーティング 250412

もんどり（刻み昆布） スジエビ2、カワリヌマエビ3、アメリカザリガニ1
もんどり（鯉節） カワリヌマエビ3

湿地の生き物 250412



イグサ



イグサ以外のイネ科は刈り込んである

湿地の生き物 250412



湿地の生き物 250412



湿地の生き物 250412

アメリカザリガニは、すくいとりで5匹、駆除39匹
もんどり（刻み昆布）では1匹



湿地の生き物 250412



日時	2025年4月12日(土)	記録者	柘元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査、全樹木調査		

湿地周辺 250412



コウホネのため池は、緑藻が出ている
緑藻は湿地には当初出ていたが今はない
雑種ガモのペアが来ていた 250412



外周に外来タンポポ
250412



西側のアケビの除去
250412

観察園全樹木調査 250412



東のクヌギ樹林の30本を計測



新緑とこもれびが美しいクヌギ樹林

スラントレベルを使用